

盲ろう者支援の拡充をめざす

視覚と聴覚の両方に障がいのある方を「盲ろう者」といいます。触手話や指点字などをコミュニケーションの手段としていますが、情報の入手や外出が難しく、障がいが重い人ほど孤立しがちになります。また、先天性盲ろう児は、物に名前があることさえ認識するのが難しく、療育や教育に独自の専門性が求められます。

5年前、公明党県議団の推進で県盲ろう者支援センターが設置されましたが、より当事者に寄り添った事業ができるよう改善を進めます。

神奈川県議会議員

HPへ▶



おのぞら

慎一郎
しんいちろう

